

平成28年度 江別市社会教育総合計画（第8期）推進状況報告書

計画期間 平成 26 年度～ 平成 30 年度

基本理念： 江別の風土を生かし、豊かで潤いのある地域社会を創造する人づくり

上記基本理念を実現するために基本目標を3項目設定し、取り組みます。

基本目標Ⅰ： 地域全体で子どもを守り育てる体制づくり

【基本目標Ⅰで目指すこと】

少子高齢化や核家族化の進行など社会環境が大きく変化する中で、親子のかかわりや地域のつながりの希薄化に伴い、家庭や地域における教育力の低下が指摘されています。

江別の次代を担う子どもたちが健やかに成長していくために、家庭教育に関する知識を得る機会を充実させるとともに、学校・地域・家庭等と連携し、様々な体験学習機会の創出や安全な環境づくりなど、地域全体で子どもを育てる体制づくりを進めていきます。

1 家庭の教育力の向上

◆成果指標 1-① おはなし会の開催（回）

現状値（H24年度）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H30年度）
314	326	337	343			→

◆成果指標 1-② 地域子育てサービスの利用者数（人）

現状値（H24年度）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H30年度）
15,807	115,643	101,904	107,978			18,000

2 地域の教育力の向上

◆成果指標 2-① 学校が地域交流の場として活用されていると思う市民割合（％）

現状値（H24年度）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H30年度）
60.1%	62.4%	68.2%	63.4%			↗

3 子どもの可能性を引き出す教育の実践

◆成果指標 3-① ボランティア活動や体験学習活動に参加する児童生徒の割合（％）

現状値（H24年度）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H30年度）
59.2%	-	-	73.2%			↗

◆成果指標 3-② 生涯学習の成果を地域の社会活動やボランティア活動等に活かしている市民割合（％）

現状値（H24年度）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H30年度）
23.3%	30.9%	34.5%	30.6%			↗

4 子どもを取り巻く安全安心な環境づくり

◆成果指標 4-① 子育て環境が充実していると思う保護者の割合（％）

現状値（H24年度）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H30年度）
-	39.2%	43.2%	45.7%			→

◆成果指標 4-② 青少年の健全育成のために学校・家庭・地域が連携して行っている取組み事業数（件）

現状値（H24年度）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H30年度）
68	73	86	87			→

■前年度の取組内容、成果指標の動向・分析及び次年度の推進の方向性

- ・成果指標 1-②「地域子育てサービスの利用者数」については、子育てひろば「ぽこあぽこ」の利用者数が増加したことにより、利用者数全体も増加しました。
- ・次代を担う青少年の健全育成を地域社会が連携して推進できるよう、体験活動等の事業のほか、育成団体等に対する補助金交付や各種会議を通じた連携強化の取組を実施しました。
- ・学校や社会教育施設は、地域住民のニーズを把握して主導的に学習の機会を企画し提供することができる地域学習の拠点であり、子どもを育てる環境を充実させるため、今後も施設の活用を図り地域の人材やボランティア団体などと連携した体験活動を実施し、地域間や世代間の交流を図るとともに、地域の団体活動の活性化に努めていきます。

基本目標Ⅱ：生きがいを見出すことのできる生涯学習の推進

【基本目標Ⅱで目指すこと】
生涯学習への意欲や関心が高まる中で、多様なニーズに応じた学習を継続して行うことができる環境が求められています。
学校・家庭・地域、さらに市民団体や民間企業と協働・連携を進め、それぞれの持つ知識の有効な活用を図る中で、市民が求める学習の機会や情報を提供していく必要があります。また、市民が生涯にわたる学習の中で得た成果を様々な形で生かし、一人ひとりが生きがいを見出すことのできる環境づくりを進めていきます。

1 生涯にわたって学ぶことのできる環境づくり

◆成果指標 1-① 生涯学習の機会が充実していると思う市民割合（％）

現状値（H24年度）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H30年度）
72.0%	59.2%	58.1%	60.2%			→

◆成果指標 1-② 生涯学習の施設が充実していると思う市民割合（％）

現状値（H24年度）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H30年度）
75.2%	63.4%	60.2%	62.8%			→

◆成果指標 1-③ 生涯学習の情報が充実していると思う市民割合（％）

現状値（H24年度）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H30年度）
74.5%	58.9%	58.7%	59.5%			→

2 市民が行う生涯学習活動への支援

◆成果指標 2-① 公民館等使用料の減免対象となる社会教育関係団体登録数（団体）

現状値（H24年度）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H30年度）
235	204	195	199			240

3 協働・連携による生涯学習の推進

◆成果指標 3-① 学校・家庭・地域の連携が取れていると思う市民割合（％）

現状値（H24年度）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H30年度）
72.1%	82.3%	82.5%	79.7%			→

◆成果指標 3-② 自治会、NPO、ボランティア等の活動でお互いに支えあっていると感じている市民割合（％）

現状値（H24年度）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H30年度）
29.1%	30.6%	32.6%	30.5%			→

■前年度の取組内容、成果指標の動向・分析及び次年度の推進の方向性

・社会教育施設が市民の交流や学習活動の拠点として活発に利用されるために必要な環境整備として、修繕計画に基づき、中央公民館の屋上防水等外部改修、野幌公民館のパネルヒーター更新、大麻公民館の冷却塔改修等を実施しました。
・生涯学習活動を行う団体が自立し地域で自主的な活動を展開していけるよう、公民館使用料の減免等、活動団体の安定的な運営への支援を実施しました。
・市民が社会参画に向けた多様な知識を得る機会を提供するため、市内4大学等と連携した生涯学習講座である「えべつ市民カレッジ」を開催するとともに、受講履歴を記録できる市民カレッジ手帳を引き続き希望者に発行するなど、参加意欲を向上させる取組を実施しました。
・生涯学習の機会・施設・情報が充実していると思う市民割合はいずれも前年度に比べ概ね横ばいとなっていますが、今後も生涯学習の機会を確保し、より多くの市民の参加につながる取組を進める必要があります。

基本目標Ⅲ：地域で育まれた多様な郷土文化の再発見と創造

【基本目標Ⅲで目指すこと】

江別には、多くの文化財や歴史的建造物が残されているほか、先人から引き継がれてきた伝統的な文化があります。市民が郷土の文化に理解を示し関心を持つことができるよう、文化財等の調査研究、保存と活用を図るとともに、拠点となる施設の整備を図り利用を促進していく必要があります。

また、市民の文化・芸術活動を支援し、新しい文化を創造・発信していくための体制づくりを進めていきます。

1 市民の文化・芸術活動への支援

◆成果指標 1－① 文化・芸術活動に参加している市民割合（％）

現状値（H24年度）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H30年度）
18.4%	16.5%	17.3%	11.8%			→

2 文化施設の活用促進

◆成果指標 2－① 過去1年間に文化施設を利用した市民割合（％）

現状値（H24年度）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H30年度）
-	23.6%	20.6%	21.6%			→

3 文化遺産の保存と活用

◆成果指標 3－① 郷土文化・歴史を学ぶ事業の開催（回）

現状値（H24年度）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H30年度）
40	27	38	33			40

◆成果指標 3－② 文化財や歴史遺産の活用により、個性豊かな文化が育っていると思う市民割合（％）

現状値（H24年度）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H30年度）
45.1%	30.1%	38.3%	35.5%			→

4 芸術活動（創作・鑑賞）の推進

◆成果指標 4－① 各種文化事業に参加している市民割合（％）

現状値（H24年度）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H30年度）
60.8%	61.5%	62.0%	69.4%			→

■前年度の取組内容、成果指標の動向・分析及び次年度の推進の方向性

・市民に質の高い文化・芸術を鑑賞する機会や発表の場を提供するとともに、文化芸術を直接体験できる場として3年に一度の市民ミュージカル本公演を開催したほか、まちかどコンサートの開催等、活動団体の安定的な運営への支援を行いました。

・成果指標の「文化・芸術活動に参加している市民割合」は前年度に比べ減少しましたが、引き続き、習いごとや趣味の活動を行う市民を増やすための方策を検討する必要があります。

・「文化財や歴史遺産の活用により、個性豊かな文化が育っていると思う市民割合」は、前年度に比べ減少しましたが、今後とも、文化や歴史に触れる機会について多くの市民に知っていただくため、積極的な情報提供やPRに努める必要があります。